

市議会だより 第150号



ハンギリ源平合戦終了後の集合写真

もくじ

- 第2回定例会で審議した議案とその結果など …P2～P3
- 市政に反映、皆さんの声（一般質問） …P4～P11
- 各委員会の議案等の審査結果、議会のうごきなど …P12～P15
- インタビュー、編集後記 …P16



令和6年 第2回（6月）定例会

6/5～7/1 27日間

本定例会では、条例の一部改正、令和6年度一般会計補正予算など、17件の議案について審議を行い、次のとおり決定しました。

■本定例会で審議された議案とその結果

| 議案番号 | 件名 | 議決結果 |
|----------|---|------------|
| 議案第 48 号 | 日田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について | 原案可決（全会一致） |
| 議案第 49 号 | 日田市税条例の一部改正について | // |
| 議案第 50 号 | 日田市都市計画税条例の一部改正について | // |
| 議案第 51 号 | 日田市税特別措置条例の一部改正について | // |
| 議案第 52 号 | 日田市分担金徴収条例の一部改正について | // |
| 議案第 53 号 | 日田市国民健康保険税条例の一部改正について | // |
| 議案第 54 号 | 財産の取得（学習机及び椅子）について | // |
| 議案第 55 号 | 財産の取得（学校給食用厨房機器）について | // |
| 議案第 56 号 | 専決処分（日田市税条例の一部を改正する条例）の承認について | 原案承認（全会一致） |
| 議案第 57 号 | 専決処分（日田市都市計画税条例の一部を改正する条例）の承認について | // |
| 議案第 58 号 | 令和6年度日田市一般会計補正予算（第1号） | 原案可決（多数） |
| 議案第 59 号 | 令和6年度日田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） | 原案可決（全会一致） |
| 議案第 60 号 | 日田市天瀬憩の家の設置及び管理に関する条例の廃止について | 原案可決（多数） |
| 議案第 61 号 | 日田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について | 原案可決（全会一致） |
| 議案第 62 号 | 日田市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について | // |
| 議案第 63 号 | 日田市監査委員の選任について | 原案同意（全会一致） |
| 議案第 64 号 | 日田市固定資産評価員の選任について | // |
| 請願第 1 号 | 2024 年大分県最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書提出に関する請願 | 採 択（全会一致） |
| 請願第 2 号 | 刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める請願 | 不採択（賛成少数） |
| 請願第 3 号 | ゆたかな学びの実現・教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書提出の請願 | 採 択（全会一致） |
| 意見書案第1号 | 2024 年大分県最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書 | 原案可決（全会一致） |
| 意見書案第2号 | ゆたかな学びの実現と教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書 | // |
| 意見書案第3号 | 小中学校の給食費無償化を国に求める意見書 | // |

令和6年第2回定例会 賛否の状況

| 議案番号 | 議決結果 | 賛否 | | 会派名等、議員名及び賛否の別 ※1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|------|----|----|-------------------|----|----|----|----|------|----|----|----|-------|----|----|----|-------|-----|-----|----|----|----|----|----|----|
| | | 賛否 | | 市政クラブ | | | | | 新世ひた | | | | 市民クラブ | | | | 日本共産党 | 公明党 | 無所属 | | | | | | |
| | | 賛成 | 反対 | 岩見 | 財津 | 梅原 | 原田 | 宮崎 | 中原 | 崎尾 | 石橋 | 坂本 | 居川 | 三苦 | 佐藤 | 井上 | 溝口 | 梶原 | 中島 | 今井 | 大谷 | 日隈 | 坂本 | 松野 | 高倉 |
| 議案第 58 号 | 可決 | 19 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第 60 号 | 可決 | 19 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 請願第 2 号 | 不採択 | 8 | 13 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ |

※1 「○」は賛成、「●」は反対（不賛成）を表します。

※2 議長（三苦誠）は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。



賛否の主な討論の内容

■議案第 58 号、議案第 60 号（反対討論）

老朽化した天瀬憩の家を解体する市の方針については、これまでの説明で理解はしている。しかしながら、温泉施設利用事業について、申請書をもとに、利用者に登録証を交付することになっているが、その登録証を交付する判断が、天瀬憩の家を日常的に利用していることが確認された市民に限られることになっており、その判断について執行部は、最後まではっきり説明できなかったことや、登録証の申請期間が7月5日から7月31日までと短く、申請漏れが起こる可能性があることから、これまで天瀬憩の家を利用してきた市民に不利益を与えることから、両議案に反対するもの。

■請願第 2 号（賛成討論）

全国の地方議会において、再審法の速やかな改正を国に求める意見書の採択が広がり、その数は本年 5 月末時点で 7 道府県を含む 266 議会にのぼっている。全国の地方自治体の首長や各種団体からも再審法改正への賛同が相次いで寄せられており、再審法改正に向けた機運は、大きな高まりを見せている。今回の請願は、法制度の不備を是正するよう求めているものであるが、是正に伴い発生する可能性のある問題については、専門家に慎重な議論を任せるとしても、改正を求める声を、国や政府に届けるのは一地方議会として重要な役割だと考える。以上のことから、当該請願に賛成するもの。

■請願第 2 号（反対討論）

新時代の刑事司法制度特別部会において、論議がなされた中では、再審請求審における証拠開示について一般的なルールを設けること自体が困難であり、手続き構造の異なる再審請求審において、通常審の証拠開示制度を転用することは整合しないといった問題点が指摘され、制度化するという結論に至らなかった。加えて、刑事訴訟法等一部改正法に関する刑事手続きの在り方協議会で、引き続き協議が行われているが、いまだに専門家が結論を出せない状況である。司法制度を変えてしまう重要な案件でもあり、慎重に検討する必要があることから、当該請願に反対するもの。

■請願第 2 号（賛成討論）

再審開始決定に対して検察が上訴して取り消しを申し立てるのは、いたずらに裁判を長引かせ、無実の人を苦しめることにしかならない。有罪・無罪は再審請求ではなく、その後の再審公判で判断されるもので、仮に検察に不服があったとしても再審の公判で主張できることになっており、再審決定自体について、検察に不服申し立てを認める必要はない。また、法的安定性が必要ということであるが、いったん判決が下された冤罪被害者は、再審は求めるなということになり、多くの痛切な訴えを門前払いにすることで、これでは冤罪はなくなる。以上のことから、当該請願に賛成するもの。

■請願第 2 号（反対討論）

法務省・政府のスタンスとして、再審制度の在り方は司法制度の基礎的な部分、基本的な骨格に関わる問題であり、確定判決による法的安定性を守りながら、個々の事件における個別具体的な妥当性や是正の必要性との調和点をどこに求めるかを、非常に深く複雑な論点で、様々な観点から慎重かつ丁寧な検討が必要としている。冤罪を無くす思いは皆様と同様であり、国や専門家達が現在も議論を重ねている課題に調査が必要なことも含め、早計に判断する事は控えるべきであることから、当該請願について慎重な立場から反対するもの。

■請願第 2 号（反対討論）

再審開始決定に対する検察官の不服申し立てを禁止することについては、一部、今後検討の余地を残すところであることから、当該請願について反対するもの。



市政に反映 皆さんの声



令和6年第2回定例会では、6月17、18、19日の3日間にわたり一般質問が行われ、15人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

一般質問

質問

天瀬憩の家の存続を求める署名3777筆の受け止めは？

回答

施設の老朽化が進み、存続することは難しい



日本共産党

日隈 知重 議員

質問 天瀬憩の家の存続を求めた3777筆の署名を、市はどのように受け止めているか。

部長 天瀬憩の家が地域住民にとって安価で気軽に利用できる温泉であり、交流の場でもあることは理解している。しかし、施設の老朽化が進み、利用者の安全性が保障されないことから存続することは難しい。

質問 憩の家廃止後の温泉施設利用事業の説明を求める。

部長 天瀬憩の家を日常的に利用していた方に事前に登録していただき、現在と同額の料金で

近隣の温泉施設を利用できる温泉回数券を販売する。

質問 天瀬復興協議会は、旧天瀬公民館の跡地に災害時の避難所を兼ねた大集会室や入浴施設がある複合施設の建設を求めている。どのように考えているか。

市長 地域の振興につながる土地活用となるよう、地域の皆様と議論を行いたい。

7月31日に入浴できなくなる天瀬憩の家



7月31日に入浴できなくなる天瀬憩の家

議会をご覧になりませんか

会議は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。車いす（3台分）での傍聴もできます。皆さんのお越しをお待ちしています。





一般質問

質問

新清掃センター建設に伴う
周辺地域との合意の方向性は？

回答

環境保全協定を締結し生活
環境の保全を約束する



市政クラブ

崎尾 亮介 議員

質問 建設用地選定から公表ま
での市の対応について伺う。

部長 地元説明の前に公表した
ことは相互理解の努力を怠った
配慮に欠けるものでありお詫び
する。

質問 地形(窪地)と気象(底霧)
について環境への懸念の声があ
るが安全は担保されているのか。

部長 建設用地に明確な基準は
存在しないが生活環境影響調査
によると、現地では環境基準を
下回る結果であり、理解してい
ただくように努める。

質問 建設用地選定から公表ま
く分散した方がよいのではない
か。

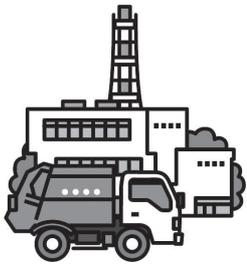
部長 一系統を予定しているが
調査を行い必要なら対応する。

質問 周辺地域に交付金か何か
を交付する考えは。

部長 交付は難しいと考える。

質問 合意形成を図っていくか。

市長 環境保全協定や厳しい自
主基準で農作物のイメージを含
め生活環境の保全を約束する。



一般質問

質問

日田市の友好交流都市を
伺う

回答

友好交流協定を締結してい
るのは屋久島町のみである



市政クラブ

原田 裕文 議員

質問 屋久島町と友好交流協定
を締結した経緯を伺う。

部長 前津江地区地域審議会が
長年交流を深め、屋久島の持つ
世界自然遺産に触れることによ
り互いに交流してきた。

質問 民間交流は、盛んに行わ
れているが、これまでの市長は
締結後1度しか屋久島には行っ
ていない。市長自身の訪問は可
能か伺う。

市長 今後の交流や訪問につい
て検討したい。

質問 前向きな答弁を頂きた
かったが残念。屋久島町に訪問

質問 屋久島町と友好交流協定
した際に交流会が行われたが、
日本一活気のある熊本県菊陽町
から町長等が出席していた。市
長が出席すれば、企業立地や周
辺部活性化等でトップ同士の話
し合いができる機会でもあり、
今後新しい都市間交流に結び付
ける可能性もある。ぜひ屋久島
訪問を要望する。

質問 この他、市の耐震基準率
の状況等を質問した。



せんびろ
屋久島の千尋の滝



一般質問

質問

新規プロジェクトチームの概要と進め方を伺う

回答

実現に向けた検討を行い、具体的な取組を進めていく



市政クラブ

岩見 泉哉 議員

質問 将来職員以外に地域の人の協力を考えているのか。

部長 議論には住民の方も参加予定。

質問 天瀬憩の家は唯一行政が運営している温泉施設である。老朽化だけで廃止になったのか。

部長 住民からの要望や老朽化等で施設廃止の目標年度を令和5年度とした。

質問 代替案は利用者を中心に利用できるが期限はあるのか。天瀬は災害復旧復興の真最中だ。それが終わるべし。

部長 認識や志の共有と働きやすい環境の整備に取り組む。

質問 しっかりと、市長の志を全職員に伝えてもらいたい。

市長 しっかりと、市長の志を全職員に伝えてもらいたい。



一般質問

質問

給特法の廃止または抜本的見直しの必要性について伺う

回答

関係法令の整備など、より慎重な議論・審議がなされるべきと考えている



市民クラブ

中島 章二 議員

質問 調整額の議論よりも、早急に行うべきと考える教職員の業務量削減について伺う。

教育長 市教委が推進すべき働き方改革として、今後も引き続き時間外勤務短縮検討委員会や学校職員衛生検討委員会などの取組を積極的に進め、業務量の削減に一層取り組んでいく。

質問 学校の指導運営体制を改善するには、一人の教員の持ち授業時数制限を行う必要があると考えるが、市の考えを伺う。

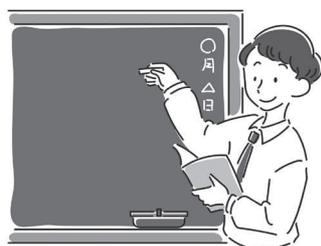
教育長 持ち授業時数制限は学習指導要領の改訂や教職員定数

改善の問題と絡んでいることから、制限に取り組むのは現時点で難しいと考える。しかし、持続可能な教職員指導体制構築は、早急に取り組んでいく問題と考えている。

質問 この他、合理的配慮の提供について質問した。

質問 この他、合理的配慮の提供について質問した。

質問 この他、合理的配慮の提供について質問した。





一般質問

質問

使用しない公共施設の活用方法はないのか？

回答

安全性などに加え、地域のニーズを伺いながら対応を決定したい



新世ひた

佐藤 孝彰 議員

質問 県道12号線沿いの旧上津

江村役場や旧上津江公民館などは活用ができない状況であり、次第に朽ちていく姿を見るのは寂しい。何か対策はないか。

部長 現在は、民俗資料等の保管場所として使用しており、当面は保管場所として維持管理を行っていききたい。

質問 施設前の県道はオートボリスへ続き、年間約7万人が通っている。施設の中から進撃の巨人が見ていたり、大きな掲示板にするなど、何か新しい保存方法は考えられないか。



旧上津江村役場

部長 見栄えのほうもあると思うので、必要に応じて維持管理を行い、景観が損なわれないように努めていききたい。

一般質問

質問

暑さ対策にはソフトとハードの両面から整備が必要！

回答

気候変動適応法の全面施行により熱中症予防策が強化された



市民クラブ

梶原 信幸 議員

質問 暑さ対策として、ひたはしり号のバス停留所にベンチを設置できないか。

部長 乗合デマンドタクシーや民間路線バスとの乗換地点となる公共接続点を重点的に、設置に向け協議する。

質問 熱中症対策にエアコンは効果的である。高齢者への設置補助の検討結果を伺う。

部長 利用の実態把握や課題の整理を行い補助の必要性も含め引き続き検討する。

質問 清涼感と冷たさを感じることでできる庁舎前の水路と噴

水を再稼働できないか。

部長 有効活用を目的とした改修には多額の費用を要するため早期の改修は難しい。庁舎前のケヤキの伐採跡地は、植樹以外の方法で緑化の検討を行う。

質問 この他、ハラスメント対策、ウォーターPPPについて質問した。



総合運動公園 バス停



一般質問

質問

ラーケーション導入の検討は？

回答

制度を導入している自治体に注目していく



新世ひた

居川 太城 議員

質問 ラーケーションは子供の学び、ラーニングとバケーションを組み合わせた造語で、別府市が昨年9月から導入した。平日や閑散期の観光需要シフトによる地域経済の活性化を目指す取組で旅と学習、スタディを合わせた「たびスタ」休暇と名付けている。導入する自治体は、本年1月では53市町村の1003校となっている。

教育長 制度を導入すれば、安心して保護者と子供との時間ができる効果もあると考えるが、欠席した分の授業をどうするかなど課題もあるため、個別の相談には対応しながら、制度を導入している自治体の教育効果等について注目していきたい。

質問 この他、スクールバス、医療費無償化について質問した。



「たびスタ」休暇

出典：別府市ホームページ

一般質問

質問

三和スポーツ広場の桜の枯死に対する今後の対応は？

回答

枯死が確認された桜の木は伐採し、新たに植樹を行う



市政クラブ

中原 晴剛 議員

質問 桜の枯死について、市は原因をどのように把握しているのか伺う。

質問 これから梅雨や台風時期に入るため、早急に伐採するべきではないか伺う。

教育次長 原因として、樹木医から除草剤の使用方法等が適切でなかったとの診断結果を受けた。

教育次長 台風シーズン前に実施できないか、指定管理者と協議していきたい。

質問 再発防止についてはどのように対策を講じるのか伺う。

質問 伐採、植樹の費用は市が負担するのか伺う。

教育次長 除草剤の選定には十分注意し、注意事項等を遵守し、作業内容を確認した上で作業に当たること。また、管理するスポーツ施設全般においても管理を徹底するよう、併せて指示を

教育次長 指定管理者の費用負担で作業を実施する。



三和スポーツ広場



一般質問

質問

オーバーツーリズムの懸念が指摘されているが、その対策は？

回答

人や車がスムーズに流れるよう、事故のないように対策を講じたい



公明党

松野 勝美 議員

質問 ゴールデンウィークも相当な数の車が来て、渋滞している駐車場がある。しっかり対応していただきたい。

部長 地元の方から意見などいただきながら、必要な対策等を講じていきたい。

質問 空き家になった場合、その家に動物が住みついてしまうなどの声を聞く。どのような対応を取るのか伺う。

部長 空き家の所有者が市内に在住していれば、訪問をし、相談内容を伝えた上で、空き家の適切な管理をお願いし、市外在住の方に

質問 空き家になった場合、その家に動物が住みついてしまうなどの声を聞く。どのような対応を取るのか伺う。

部長 空き家の所有者が市内に在住していれば、訪問をし、相談内容を伝えた上で、空き家の適切な管理をお願いし、市外在住の方に

質問 空き家になった場合、その家に動物が住みついてしまうなどの声を聞く。どのような対応を取るのか伺う。

部長 空き家の所有者が市内に在住していれば、訪問をし、相談内容を伝えた上で、空き家の適切な管理をお願いし、市外在住の方に

質問 空き家になった場合、その家に動物が住みついてしまうなどの声を聞く。どのような対応を取るのか伺う。

部長 空き家の所有者が市内に在住していれば、訪問をし、相談内容を伝えた上で、空き家の適切な管理をお願いし、市外在住の方に

質問 空き家になった場合、その家に動物が住みついてしまうなどの声を聞く。どのような対応を取るのか伺う。



川開き観光祭の花火の様子

一般質問

質問

景気刺激策としてプレミアム商品券の発行を検討できないか？

回答

今のところ景気回復傾向にあるので考えていない



市政クラブ

財津 幹雄 議員

質問 大工や左官など伝統技能の後継者が育っていない。技能士会や建築士会日田支部、共同訓練協会などが、連名で見習い者雇用に

対しての補助事業を復活するよう要望したが、どのように検討しているのか。

部長 昨今の後継者不足は承知している。実態を調査しながら関係団体と協議していく。

質問 地域の祭りなどの伝統行事の後継者も危ぶまれる。近く開催される「日田祇園祭」でも山鉦の引手、特に隣子方は今後人手不足が懸念される。

市長 伝統技能や伝統行事の後継者育成は喫緊の課題と認識している。若い世代や女性を含めて関係団体と協議していく。

市長 伝統技能や伝統行事の後継者育成は喫緊の課題と認識している。若い世代や女性を含めて関係団体と協議していく。

市長 伝統技能や伝統行事の後継者育成は喫緊の課題と認識している。若い世代や女性を含めて関係団体と協議していく。

市長 伝統技能や伝統行事の後継者育成は喫緊の課題と認識している。若い世代や女性を含めて関係団体と協議していく。

市長 伝統技能や伝統行事の後継者育成は喫緊の課題と認識している。若い世代や女性を含めて関係団体と協議していく。

市長 伝統技能や伝統行事の後継者育成は喫緊の課題と認識している。若い世代や女性を含めて関係団体と協議していく。



日田祇園ポスター



一般質問

質問

人口減少対策は子育て支援に重きを置いているが成果は？

回答

社会減の抑制については目標を達成、成果が徐々に表れている



市政クラブ

宮崎 陽治 議員

質問 企業誘致による地場企業への影響についてどう考えるか。

部長 少なからずあると考える。

進出企業との情報共有により、技術力向上、労働環境改善などメリットも考えられる。

質問 本市を取り巻く周辺都市との関係性として、ストロー現象により、一層の人材流出が危惧されるがどう考えるか。

部長 人材確保対策を強化し、日田で働く魅力を伝える機会を設け、U-Jターンの促進に取り組む。

質問 三隈川を以前の姿に復活

組む。

質問 三隈川を以前の姿に復活



三隈川の風景

させ、リバーフロントとした観光の核としてはどうか。

部長 三隈川の持つポテンシャルを生かし魅力発信に引き続き取り組む。

質問 三隈川を以前の姿に復活

質問 いじめや不登校等の対策については、チーム学校の体制強化が掲げられているが、どのような取組をしているのか。
教育長 6名の心の相談員を小中学校に派遣し、児童・生徒に寄り添いながら、家庭での活動についても支援をしている。また、4名の教育相談員、2名の臨床心理士、3名のスクールソーシャルワーカーが常時、相談に対応している。さらに県から10名のスクールカウンセラーを配置してもらい、市内の小中学校の巡回や学校での相談、子供の見守りにも支援を受け

一般質問

質問

チーム学校の取組で学校改革は進んでいるか？

回答

教職員の負担軽減につながっている



公明党

坂本 茂 議員

ており、その他、2名の登校支援員も活用している。

質問 チーム学校の取組は、教職員の負担軽減につながっているのか。

教育長 専門スタッフ以外にも学校の部活動指導員や4名のスクールサポートスタッフを配置しており、教員の業務支援では負担軽減につながっている。





一般質問

質問

林業作業にドローンを導入すべきではないか

回答

ドローンの普及を図っていく



市民クラブ

溝口 千壽 議員

質問 市内の林業従事者数と推移について伺う。

部長 平成27年は491人で、令和2年の調査では511人であり、わずかに新規就業者が増えており若返りも図られている。

質問 林業におけるドローンの導入実績について尋ねる。

部長 市内の林業事業体では、森林調査用ドローンを導入しており、造林地の測量や災害地の写真撮影などに活用されている。

質問 ドローン導入の効果と課題について伺う。

部長 上空から施業地の確認や

撮影、測量などが行え、業務の省力化、経費の削減につながっていると伺っている。しかし、連続飛行時間が短いことや多くの資材を運ぶことができないこと、コストが高いことが課題である。

質問 この他、高齢者の移動手段について質問した。

質問 この他、高齢者の移動手段について質問した。



一般質問

質問

農地・農業用施設の災害復旧の地元負担は軽減すべき

回答

国の補助事業では農地は現行6割を1.5割に、施設は5割を1割に軽減



日本共産党

大谷 敏彰 議員

質問 農家負担の軽減対象が、今年4月1日以降の災害からとなっている。なぜ令和5年度分を対象にしないのか。また、市単独小災害の農家負担の軽減についてはどう考えているか。

部長 令和5年度の復旧費の自己負担も農家に了解をいただきたい工事を申請している。市単小災害の農家負担は軽減の方向で要綱等を今準備している。

質問 令和5年度の復旧工事の市の財政負担は、交付税措置等をふまえて最終的にどれだけか。

部長 国の補助事業では、起債

部長 国の補助事業では、起債

の交付税措置、特別交付税措置、国の補助交付で市の負担はない。

質問 3月の小野地域での米軍機低空飛行と今後の対応、また九州防衛局に中止を求めてもらいたい。

部長 今後、振興局や振興センター等で情報を集約し、ホームページで情報提供等を行う。

市長 住民の不安の解消、安全確保を図るため県や関係市と連携し対応する。





報告 各委員会の 議案等の審査結果

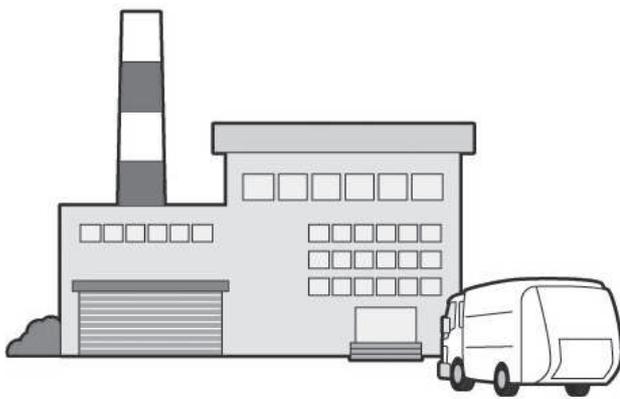
総務環境委員会

令和6年度日田市一般会
計補正予算8億805万3
千3百円を全額可決

今回の主な歳入の補正は、住民税非課税世帯等に対する物価高騰重点支援給付金給付事業及び定額減税補足給付金給付事業に伴う物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金6億1759万8千円を含む国庫支出金などです。

●焼却施設等更新事業

新清掃センター建設における生活環境影響調査を令和3年度から4年度にかけて行いましたが、今回、処理対象物に新たに生ごみを加えることに伴い、予測結果を更新する必要があるため当該調査に係る費用を増額補正するものです。約4カ月か



けて行う周辺の大気質、騒音、振動、悪臭などの調査の結果については、数字だけの説明や報告に終わらせず、市民の皆さんが理解しやすいような内容にまとめることや適宜、住民説明会を開催し、丁寧な説明を行うよう要望しました。

教育福祉委員会

天瀬憩の家の廃止に対し、更なるきめ細やかな対応を

●天瀬憩の家の設置及び管理に関する条例の廃止

令和5年9月に実施した建物調査において、施設の老朽化に伴い、利用者の安全性が保障されないことが判明したため、同施設の運営を停止するに当たり条例を廃止するものです。「施行日は令和6年8月1日である」ということだが、利用者への周知を考えると期間が短すぎるのではないかと「この意見が出されたことから、利用者への周知を徹底するように強く要望しました。」

●温泉施設利用事業

天瀬憩の家の運営停止に伴い、当該施設を日常的に利用している市民が、引き続き温泉施設を利用できるように、温泉回数券

の販売について補助を行うものです。

今回、温泉回数券の購入に当たり、天瀬憩の家で「登録証」の申請を行うことについて「登録証の申請期間が7月5日から7月31日までと短いことから、申請漏れが起こりかねない」との意見が出されました。

その点に関しては、担当課より「申請期間が過ぎた場合は、入院中であった等、個々の状況を考慮して相談に応じることを考えている」との説明がありました。

事業実施に当たっては、温泉回数券の購入には、事前に登録証の申請が必要となることや、申請期間が限られていることなどを、利用者十分に理解していただけるように、周知徹底することを強く要望しました。



産業建設委員会

約30年ぶりの分担金改正は速やかな周知を！

●日田市分担金徴収条例の一部改正について

農地及び農業用施設災害復旧事業における受益者の負担軽減を図るため、当該事業に係る分担金の徴収率の改正を行うものです。

今回の改正により農家負担が軽減されることは評価するものの、引き続き県内の状況を注視しながら農家負担の更なる軽減を図るよう要望しました。併せて、分担金徴収率の改正は、約30年ぶりとなることから農家への速やかな周知徹底を行うよう要望しました。

●日田材普及啓発事業

本事業は日田材の需要拡大を図るため、市及び関係団体など

が、都市圏をはじめとした域外への営業ツールとして活用できる、日田材製材製品のPRカタログを製作するものです。

事業実施に当たっては、日田材の需要喚起につながるなど、最大限の事業効果を上げる取組となるよう要望するとともに、カタログの有効な活用については、慎重に検討するよう要望しました。



日田郡森林組合の原木

意見書

次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

●2024年大分県最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書

大分県最低賃金のあるべき姿への引き上げとコロナ禍における中小企業・小規模事業者支援の更なる拡充のため、以下の施策を講じるよう強く求めるもの。

1. 経済の好循環に向けては「人への投資」が不可欠であることから、継続的な最低賃金の引上げにより経済の自律的成長を実現すること。
2. 設定する最低賃金は、総合指数に見合った水準とすること

はもちろん、県内での労働力確保につながる地域間格差の是正

を図ること。

3. 最低賃金を引上げる環境を整備するため、中小企業・小規模事業者への影響の検証、各種支援制度の継続と実効ある対策の拡充を図ること。

●ゆたかな学びの実現と教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるとともに、以下の項目について取り組むことを強く要望するもの。

1. 教育環境改善のために、全ての職種において計画的な教職員定数改善を推進すること。とりわけ、中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分

図るため、市及び関係団体など



の1に還元すべし。

3.さらなる少人数学級を推進するとともに、複式学級を解消すべし。

●小中学校の給食費無償化を国に求める意見書

学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達及び食に関する正しい理解と適切な判断力の育成を図る上で重要な役割を担うものである。

また、学習指導要領においては、特別活動の学級活動の内容として、給食の時間を中心に健康によい食事の取り方など、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通じ人間関係をよりによくすることと示されており、学校教育活動の一環として実施されている。

食育の推進、子育て支援、少子化対策、自治体間の公平さの観点からも、小中学校の給食費無償化は国の施策とし、自治体への財政的支援を強く要望するもの。

議会のうごき



春の全国交通安全運動 —議員が街頭活動—

日田市議会では、毎年春と秋の全国交通安全運動期間中に街頭活動を行っています。

今年も、春の全国交通安全運動期間中の4月10日（水）午後5時過ぎから、日田警察署や大分県交通安全協会日田支部のご協力をいただき、市役所前交差点で車の運転手や歩行者などに交通事故防止を呼びかけました。



春の交通安全運動開始式の様子

「令和6年度大分県事業説明会」及び「県議会議員と市議会議員の意見交換会」を開催

令和6年5月7日（火）に大分県西部振興局にて、日田市選出の大分県議会議員である井上副議長、中野議員、岡野議員と日田市議会議員による、令和6年度大分県事業説明会及び県議と市議との意見交換会を開催しました。

令和6年度大分県事業説明会では、大分県西部振興局の職員及び日田土木事務所の職員から、県の主な事業説明を受け、それに対する質疑を行いました。県議会議員との意見交換会では、「東九州新幹線ルートについて」、「子ども医療費助成事業について」、「給食費無償化について」など7つのテーマにより意見交換を行いました。



意見交換会の様子

議員相互間の自由討議を実施

6月定例会中の6月21日（金）に議員相互間の自由討議を実施しました。

今回の議題は「持続可能な上下水道運営のためのウォーターPPPを考える」と題して議員間で活発な討議が行われました。「ウォーターPPP」とは、水道や下水道などの水道分野を対象とした、官民連携方式のことです。



自由討議の様子

今回のまとめとしては、今年度実施される官民連携導入可能性調査事業の結果を踏まえて、産業建設委員会において、導入の可能性について、十分な調査検討を行い、引き続き議論を重ね、方向性を見出していくこととなりました。

今後の市議会の取組において、大きな意味を持つものであり、大変有意義なものとなりました。

林業活性化は未来への投資
〈林業活性化議員連盟研修〉

日田市議会では、森林・林業・林産業の活性化、国土の保全、日田市の振興の実現に努めることを目的に「林業活性化議員連盟」を設置し活動を行ってまいります。

この連盟の研修会として6月24日(月)に、昨年度まで林野庁の広報官を務められていました、服部副市長を講師に招き「森林・林業の役割と木材利用など」をテーマとした研修会を行いました。
森林と木材利用を例にしたSDGSの取り組み方や森林環境譲与税の更なる活用などについて学びました。



研修会の様子

令和6年度の議会報告及び意見交換会について
(お知らせ)

日田市議会では、平成24年度から市民の皆さんに議会活動の報告と合わせて、貴重なご意見をお聞きする機会として、「議会報告及び意見交換会」を開催してきました。

昨年は、コロナ禍明けで、4年ぶりに開催しました。

本年度の「議会報告及び意見交換会」につきましては、新たな形態での実施方法を検討した結果、各常任委員会において「各団体との意見交換会」を実施することといたしましたので、お知らせいたします。



日田市監査委員の選任

次の方を選任することに同意しました。

小ケ内 聡行氏(中本町)



第3回(9月)定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

| | |
|----------|------------|
| 9月 3日(火) | 本会議(議案説明) |
| 10日(火) | 本会議(一般質問) |
| 11日(水) | |
| 12日(木) | 本会議(議案質疑) |
| 13日(金) | |
| 18日(水) | 委員会(議案審査) |
| 19日(木) | |
| 20日(金) | 本会議(討論・採決) |
| 24日(火) | |
| 26日(木) | |



お話を伺いました

今回はまちづくり団体「ストリームひた」の活動について代表の後藤浩介さんから話を伺いました。

ストリームひたとは？

平成8年に結成され、正式名称は日田市青年団体連絡協議会ですが、通称「ストリームひた」と呼ばれています。構成員は日田青年会議所や日田商工会議所青年部、ローターアクトクラブ等の会員で、主な活動は市の祭り関連の一翼を担っています。

活動の場

大きな活動としては観光祭のイベントやリバーフェスタの開催、小学校向けに防災・環境の講演会、三隈川の藻の除去や草刈り等の清掃活動を行っています。特に観光祭ではスポンサー企業の対応や水上ステージの設置、日田市連合青年団から引き継いだ「ハンギリ源平合戦」を行っています。また、「ハンギリ源平合戦」は60年以上続く歴史があり、地域資源を活用した観光振興や地域活性化に寄与した

ということ、先日「ストリームひた」が大分県のツーリズムおおいだから表彰を受けました。



ハンギリ源平合戦の様子

まちづくりの楽しさ

1番は大きなイベントを通じて団体の枠を超えた友情や、みんなとやりきる達成感。参加者から「楽しかった」、「来て良かった」と感じてもらい、少しでも日田を好きになってくれたら嬉しいです。日田が好きでここで生まれ育ち、1度離れましたが、帰ってきて日田の象徴とも言える水（三隈川）でまちを盛り上げる一翼を担えることにやりがいを感じます。

ただ、天候や自然を相手にするため準備や撤収の難しさ、当日の中止の判断などなかなか厳しいこともあります。

今後の思いや展望

毎年、8月に「リバーフェスタ」を開催しています。「三隈川が遊園地になる日」の実現に向け今も努力しています。

昨今、規制や管理も厳しい中で川に触れ合い遊ぶことは少なくなっています。しかし、子供たちの思い出には川との触れ合いは必要と感じます。今年も三隈川と一緒に楽しめるようにいろんなことを考えていますので是非、リバーフェスタに来てください。

最後に、我々「ストリームひた」の名前を聞いた時は応援をよろしくお願いします。



リバーフェスタの様子

編集後記

毎年雨季には降雨や水位に注視する日々が続きます。日田市は古来より水や川といった自然の恩恵により公益を得た一方、水害に備える・対応するといったことも求められ、私たちは天地に畏怖尊敬し、どう共生していくかが問われていると感じます。

取材をする中で、若人たちが日田市のために何かしたいと粗削りながら邁進していることがまざまざと伝わりました。天地に寄り添いつつ公利公益のために行動する。安全対策などを大前提として子供たちが三隈川に思いつき飛び込み遊び尽くせるための「リバーフェスタ」実現を応援したいと思います。
夏休みの思い出に是非、期待して参加ください。

(議云報編集委員会委員)

居川 太城